

議案第 87 号

日進市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について

日進市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を別紙のとおり改正する。

令和元年 11 月 28 日提出

日進市長 近藤 裕 貴

1 提案理由

この案を提出するのは、市長、副市長及び教育長の期末手当の支給割合を国の特別職の職員の支給割合に準じて改めるため、日進市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する必要があるからであります。

2 主な改正点

期末手当の支給割合を次のように改める。

(単位：月)

	年度	6 月	12 月	合計
改正前	令和元年度	1.675	1.675	3.35
改正後	令和元年度	1.675	1.725	3.40
	令和2年度以降	1.70	1.70	3.40

日進市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

令和 年 月 日

条例第 号

第1条 日進市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例(昭和41年日進町条例第3号)の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>(期末手当)</p> <p>第5条 略</p> <p>2 期末手当の額は、期末手当基礎額に、<u>6月に支給する場合には100分の167.5、12月に支給する場合には100分の172.5</u>を乗じて得た額に、基準日以前6か月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>3 略</p>	<p>(期末手当)</p> <p>第5条 略</p> <p>2 期末手当の額は、期末手当基礎額に<u>100分の167.5</u>を乗じて得た額に、基準日以前6か月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>3 略</p>

第2条 日進市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>(期末手当)</p> <p>第5条 略</p> <p>2 期末手当の額は、期末手当基礎額に<u>100分の170</u>を乗じて得た額に、基準日以前6か月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>3 略</p>	<p>(期末手当)</p> <p>第5条 略</p> <p>2 期末手当の額は、期末手当基礎額に、<u>6月に支給する場合には100分の167.5、12月に支給する場合には100分の172.5</u>を乗じて得た額に、基準日以前6か月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>3 略</p>

附 則

(施行期日等)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 第1条の規定による改正後の日進市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例（以下「改正後の条例」という。）の規定は、令和元年12月1日から適用する。

(期末手当の内払)

- 3 改正後の条例の規定を適用する場合には、第1条の規定による改正前の日進市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の規定に基づいて支給された期末手当は、改正後の条例の規定による期末手当の内払とみなす。